

Benevolent Sea-God

小惑星サンプルリターン計画(MUSES-C)を解説するために、特集号を組むこととなり、言い出した者の責任として、また、編集委員会への最後のご奉公という気持ちもあって、取りまとめを引き受けた。よく編集の苦勞として、著者がなかなか原稿を送ってくれずにおおいに困ったという話を聞くが、この特集に関しては、著者全員が期日を守り、かつ内容についても読みやすくなるように、それぞれに苦勞してもらったので、たいへん楽しい仕事であった。年度末の忙しい時期に協力頂いた方々にお礼申し上げたい。それにしても、こうしたお礼の心を物質化できないのは、誠に心苦しい。惑星科学会が大きくなって、こうした無料奉仕に報いることができるようになりたいものである。

さて、この特集には大きな手落ちがある。計画の目玉となる、地球に持ち還るサンプルについての解説がないのである。ここでは、計画そのものの解説と、探査機に搭載される“その場”観測装置の説明だけを取り上げている。というのは、来年3月発行の「遊・星・

人」7巻1号に、地球外物質の分析についての特集が組まれる予定なので、そちらへ話題を残した、と言いつけておく。

本文中にも触れられているが、ここで取り上げたサンプルリターン計画は、非常に野心的なもので、宇宙探査の後発国である我が国が、先発諸国をあとといわせた大胆な計画である。その割には、この計画の大きさが、惑星科学会員の間においても、充分認識されていないように感じる。2006年にサンプルを持ち還るまでには、これから先、幾つもの苦勞が待っている。こうした道程を進んでいくには、この特集を読まれた方からの物心両面でのご支援が励みとなろう。と共に、直接的な参加はできなくとも、サンプルリターン計画に好意的な気持ちを持って頂くことができれば、たいへんにうれしい。こうした理解への手引きとして、この特集の記事がすこしでも役に立つことがあれば幸いである。

(向井正)

編集委員

村江達士[編集長] 高木靖彦[幹事] 向井 正[ゲストエディター]

荒川 政彦 飯島 祐一 海老原 充 加藤 工 木村 眞 小林 憲正
小林 直樹 佐々木 晶 田近 英一 中村 良介 並木 則行 平田 岳史 松島 弘一
渡部 潤一

1997年6月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第6巻 第2号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 村江達士 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学理学部地球惑星科学科

印刷所 〒135 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学理学部地学内

日本惑星科学会 TEL 03-3720-9885 FAX 03-3727-4662

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。